

2026 年 9 月 8 日
ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ株式会社

プロジェクトリーダーおよびプロジェクトチーム養成学校、 PM/PMO 実務に焦点を当てた新コース 「プロジェクトマネジメントコース」開講のお知らせ

ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ株式会社（本社：東京都港区、以下ケンブリッジ）は、同社が運営する研修サービス「プロジェクトリーダーおよびプロジェクトチーム養成学校」において、2026 年 11 月より「プロジェクトマネジメントコース」を開講します。

本コースは、既存の Foundation/Planning/Scope コースに続く新コースとして、プロジェクトマネジメント力を習得するものです。

30 年以上にわたるプロジェクト支援を通じて蓄積してきた知見を基に、PM/PMO の役割遂行に必要な意思決定支援、合意形成、部門横断調整などを含む実務力の習得を支援します。

プロジェクトマネジメントコースの詳細資料：https://pages.ctp.co.jp/rs/205-JYV-405/images/ProjectManegment_cambrige_202609.pdf

■新コース「プロジェクトマネジメントコース」の位置づけ

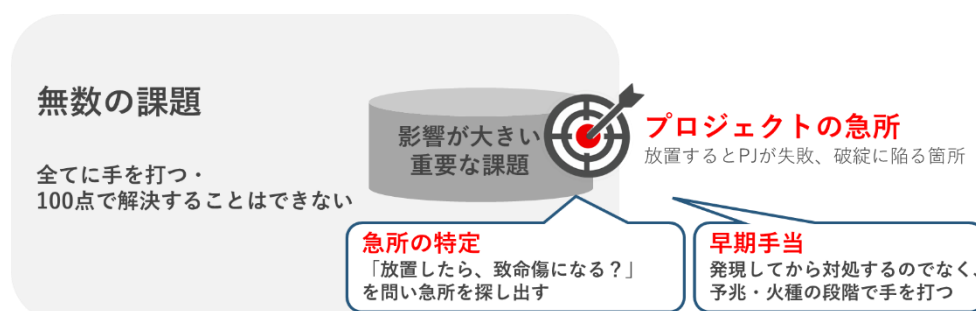
ケンブリッジはこれまで「プロジェクトリーダーおよびプロジェクトチーム養成学校」を通じて、プロジェクトを推進する人材の育成を支援してきました。既存ラインアップでは、Foundation コースで会議ファシリテーションや思考力、資料作成などのベーススキルを習得し、Planning コースではプロジェクト超上流工程の進め方を、Scope コースではシステム要求定義の進め方を体系的に学びます。

今回のプロジェクトマネジメントコースは、この研修体系に、プロジェクトの運営・推進局面に焦点を当てた領域を加えるものです。計画や進捗の管理にとどまらず、状況の変化を捉え、課題の優先順位を見極め、関係者を巻き込みながら打ち手を講じられる人材の育成を目指します。

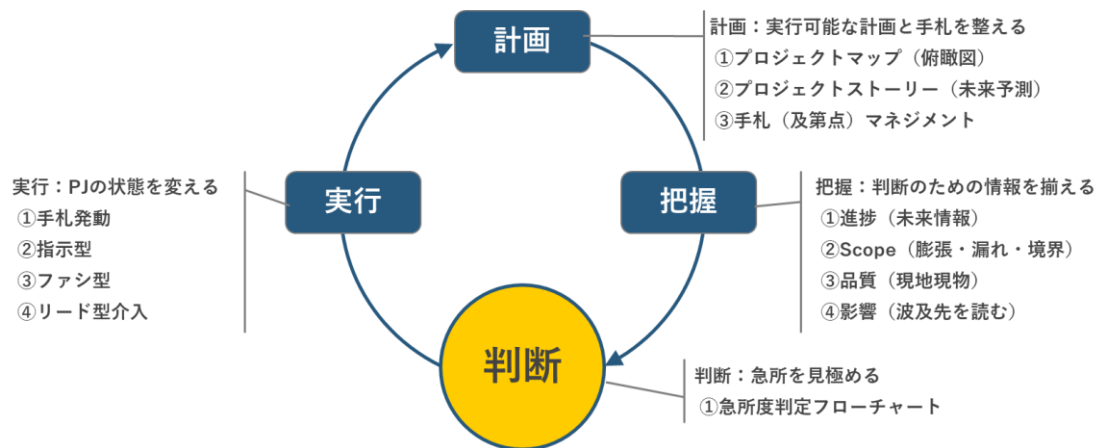
■コース設計の考え方

企業のプロジェクトでは、プロジェクトマネジメントの知識や手法を理解していても、失敗の兆候に気づけない、致命傷かどうか判断できない、必要な手を打てないといった課題が、プロジェクト推進上の障壁となる場面が少なくありません。

ケンブリッジは、30 年以上にわたるプロジェクト支援を通じて、プロジェクトマネジメントの要諦は、課題の整理や進捗確認ではなく、プロジェクトの不確実性を前提に、プロジェクトの急所を探して手当てすることだと捉えています。



本コースでは、急所を探して手当てするために現場で求められる計画・把握・判断・実行の流れを実務で使える形で習得できる内容としています。



■本コースの特長

プロジェクトの推進実務を土台にしている点にあります。資格取得や知識体系の理解を主眼に置くのではなく、意思決定支援・合意形成・部門横断調整・PMO 実務といった、変革を前に進めるための行動に重点を置いています。

また、講義だけでなく、実務に近いケースを用いた演習を通じて、現場で起こりやすい課題や判断場面に向き合う構成としています。知識の理解にとどまらず、現場で継続的に実践できる状態までつなげることを重視しています。

■カリキュラム

本コースは全7回で構成されています。

Day1 では、プロジェクトマネジメントを「計画・進捗・管理を回すこと」ではなく、「急所を見極めて手当てすること」と捉え直します。

Day2 でプロジェクトの全体像を俯瞰し、急所が潜む構造を捉える方法を、Day3 で成功・失敗の未来から急所を予測し、プロジェクトを成立させる及第点を定める方法を学びます。

その後 Day4 では、急所の兆候を捉え、優先して対応すべき課題を見極める方法を学びます。

Day5 では、指摘や管理にとどまらず、ファシリテートやリードを通じて急所への対応を実行し、プロジェクトの状況を変える力を養います。

最後に、Day6 で実際のプロジェクトを題材とした卒業試験に取り組み、Day7 で全日程を振り返り、急所対応の型を言語化します。

Day	テーマ	Before（受講前）	After（受講後）
Day1：全体像	常識を壊す	PM＝「計画・進捗・管理を回す人」と思っている	PM＝「急所を見極めて手当てる人」に認識が変わる
Day2：俯瞰図	全体を掴む	タスク単位・部分最適でしか見えない	PJ全体を俯瞰し、急所が潜む構造を捉えられる
Day3-a：未来予測	未来を読む	問題が起きてから対応する	成功・失敗の未来から逆算し、急所を予測できる
Day3-b：及第点マネジメント	着地を定める	理想主義で100点を追いかける	PJ成立のラインを定め、PJ全体を成り立たせられる
Day4-a：把握	状態を見抜く	進捗・課題を表面的な数字でしか見れない	進捗・Scope・品質・人の実態から急所の兆候を捉えられる
Day4-b：判断	急所を絞る	目の前の課題を均等に処理してしまう	「放置したらずい課題＝急所」に集中できる
Day5：実行	状況を変える	指摘・管理で終わる	現場の仕事を増やさず、急所に介入して状況を変える
Day6：卒業試験	回し続ける	知識はあるが動けない	「計画→把握→判断→実行」で急所対応を回し続けられる
Day7：サンセット	振り返り	学びが断片的で、学びを組織に持ち込めない	急所対応の型を言語化し、再現・展開できる

■開催概要

会場	対面のみ（ケンブリッジ赤坂オフィス）
研修期間	全 7 回（各回 3 時間）、隔週開催で約 4 か月間
スケジュール	● 2026 年度は、2026 年 11 月～2027 年 3 月にわたって開催 ● 2027 年度は、2027 年 5 月開講予定 ● ※貴社のニーズにあわせた開講も可能
対象者	● 事業会社でシステムを伴う変革をリードする方 ● SE など、IT プロジェクトに携わる方 ● PMO としてプロジェクトを支援する立場の方
価格	初回限定価格として 40 万円（税別）/人
参加条件	1 社あたり 3 名以上のグループで参加

■授業見学のご案内

本コースでは、実際の講義や演習の進行、受講者同士のディスカッションなどを直接確認できる見学が可能です。まずはお気軽に見学にお越しください。

見学のお申し込みはこちら：<https://pages.ctp.co.jp/contact.html>

■ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ株式会社について

<https://www.ctp.co.jp/>

ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズは「変革プロジェクトを成功させる」のが得意な、日本および北米で事業を展開するコンサルティングファームです。自社のやり方や都合を押し付けるのではなく、お客さま自身の変革マインドを引き出し、実行可能で納得感のあるゴールをお客さまと共に決め、部門横断型の難解な課題や抵抗勢力など変革を阻む壁を超えながら、変革プロジェクトを成功へと導きます。

■お問い合わせ

ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ株式会社 マーケティングチーム

担当：田窪

お問い合わせフォーム：<https://pages.ctp.co.jp/contact.html>